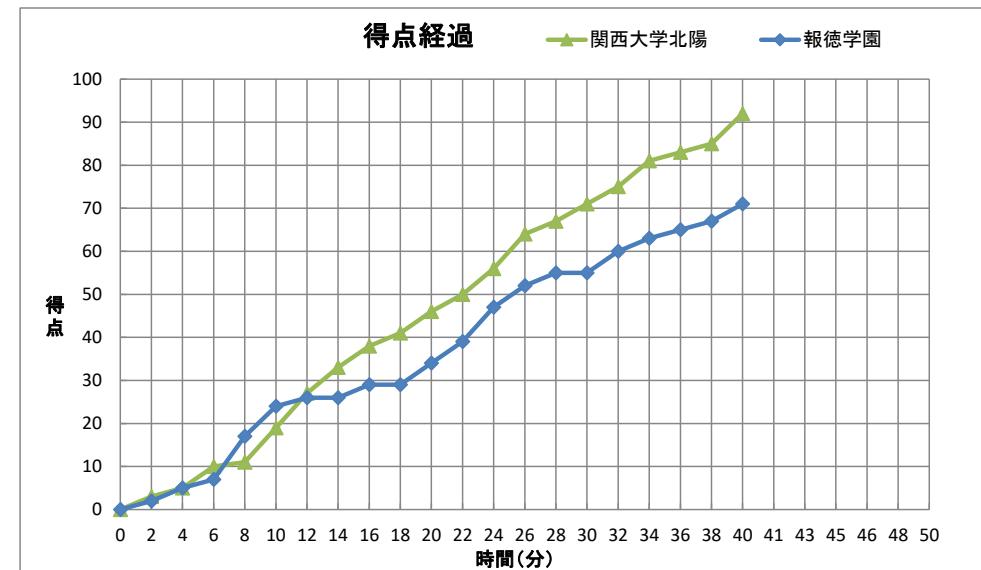




令和4年度  
第69回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子											6月25日 15:40 開始				
準々決勝											ウカルちゃんアリーナ B				
◎ 関西大学北陽 92											71 報徳学園				
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則		
* 4	宇野 翔流	12	2	3	0	2	7	森本 虎志	4	0	2	0	2		
5	吉田 勇大	0	0	0	0	0	13	星原 甲治	19	0	8	3	2		
* 6	高田 翔一	16	0	8	0	1	* 23	溝上 恵大	26	5	5	1	1		
* 7	石山 海誓	9	2	1	1	4	26	田口 道大	2	0	1	0	0		
* 8	北岡 雄斗	17	0	7	3	3	27	神成 効翔	2	0	1	0	0		
9	岸田 尚大	11	3	1	0	1	38	内海 凰太	2	0	1	0	2		
* 10	上村 桜大	17	1	6	2	2	* 44	多田 健太郎	3	1	0	0	0		
11	野口 賢人	5	0	2	1	0	* 46	小林 裕斗	6	2	0	0	2		
12	黒田 唯翔	-	-	-	-	-	* 47	山崎 慎之助	0	0	0	0	1		
13	大野 裕斗	0	0	0	0	1	50	小林 準也	0	0	0	0	1		
14	雨森 巧真	3	0	1	1	0	* 60	脇 友一	0	0	0	0	4		
15	滝澤 承太朗	-	-	-	-	-	70	伊藤 大晃	0	0	0	0	0		
16	砂田 剛志	2	0	1	0	0	81	賀田 智尋	0	0	0	0	0		
17	米田 翔	-	-	-	-	-	91	堀尾 琢磨	0	0	0	0	0		
18	田中 伸朋	-	-	-	-	-	97	井藤 匠哉	7	0	3	1	2		
コーチ	渡辺 真二					0	コーチ	田中 敏					0		
Aコーチ	高木 穂						Aコーチ	更谷 知則							
合 計		92	8	30	8	14	合 計		71	8	21	5	17		
主審: 富島 健司 副審: 田中 優志 副審: 堤 健太郎															



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	7:31	:	37:39	:	:	:
TeamB	12:23	16:21	22:24	33:17	:	:

[ 戦評 ]

報徳学園(兵庫)と関大北陽(大阪)の対戦となった準々決勝。  
第1ピリオド、報徳学園②④⑥⑦⑩、関大北陽④⑥⑦⑧⑩でスタート。ディフェンスは両チームともマンツーマンディフェンスで始まる。序盤はディフェンスからのブレイクで流れを掴もうとする関大北陽に対し、報徳学園はハーフコートオフェンスで得点を狙うが、流れをお互い掴ませないで試合が進んでいく。終盤に差し掛かり報徳学園⑬⑭のドライブ、⑬のスリーポイントで得点を重ね17-9と報徳学園がリードしたところで関大北陽がタイムアウト。最終、関大北陽⑨の連続スリーポイントで24-19と点差を詰めて第1ピリオドを終える。

第2ピリオド、関大北陽はゴール付近のシュートと好ディフェンスからのブレイクで26-30と逆転に成功し、報徳学園がタイムアウトをとるスタートとなる。中盤になり報徳学園はディフェンスをゾーンプレスマントーに変え流れを掴もうとするが、関大北陽は落ち着いたオフェンスで得点を重ね、29-40とリードを広げることに成功する。その後はお互い譲らず34-46と関大北陽のリードで前半を終える。

第3ピリオド、リードを縮めようとする報徳学園がオールコートディフェンスから流れを掴み連続で得点するが、すかさず関大北陽も連続得点し、一進一退の攻防が続く。終盤では関大北陽がディフェンスの強度を高め、報徳学園に苦しいシュートを打たせる。そして、⑥⑦⑧の効果的な得点でリードを広げ、55-78で第3ピリオドを終える。

第4ピリオドに入っても、関大北陽は⑥⑧を中心として攻撃の手を緩めない。対する報徳学園は、オールコートディフェンスでダブルチームを囲り相手のミスを誘おうとするが、それでもプレーを崩さなかった関大北陽が報徳学園に71-92勝利を収めた。

お互いが最後までディフェンスを頑張り、リングに向かい続けた見ごたえのある試合であった。

戦評: 大澤 郁

記録: 堅田高校